

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
58	05	25	26	15	05	子育て支援事業		
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			675110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課/保育所等・地域連携		岡部/石倉	64813/64852

事業の概要									
事業の概要		・子育て支援事業…男性保護者が主体的に子育てに関わることが出来るように、子どもへの関わり方を伝えたり、お互いに情報交換をする講座を開催する。 ・親育ち支援事業…初めての赤ちゃんを育てる母親の育児に対する不安感、孤立感を軽減し、早い時期から子育ての仲間作りができるよう講座を開催する。 ・あつまれキッズ…親子ふれあいの場・交流の場・学びの場・相談の場・情報の場を提供し育児力向上を目指す。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費			
		平成27年度	—						
地域の課題と現状		高津区は市内でも年間の出生数や子育て世帯の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、子育て当事者の育児力を向上させるため、育児の基礎知識習得や子どもの成長・発達など子育てに関する課題の学習、父親の育児参加を促進させることが必要とされている。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	826	691	803	636	779	531		
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財	40	31	1	0	1			
	一般財源	786	660	802	636	778	531		

計画 (Plan)	
事業の目的	子育て中の親子等が交流・学習する機会やさまざまな場の提供をし、父親の育児参加の促進や子育て力の向上を図り、子どもが健やかに育ち、子育てしやすいまちづくりを目指す。
今年度の事業の取組内容	・子育て支援事業…9～10月にかけて、すくらむ21で3回連続講座を開催する。 ・親育ち支援事業…5、8、11、2月に、区役所あるいは高津市民館で4週連続講座を開催する。 ・あつまれキッズ…区内施設において、対象年齢ごと(0歳児～3歳児)に年間33回開催する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・子育て支援事業は、父親の育児参加促進講座を3回連続講座に1回の公開講座を加えて実施。親子8組が参加。・親育ち支援事業は、4週連続の参加型講座を4回実施(5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したが8月に前半後半で2回実施)。母子38組が参加。・あつまれキッズ…区内施設(4か所)において対象年齢毎にサロン形式で地域の子育てを支える支援者と共に実施。(新型コロナウイルス感染予防対策のため5～6月は中止)延べ515人参加							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	子育て支援講座(4回連続講座)(実施回数)	目標	1	1	1		回
				実績	1	1	1		
	2	活動指標	親育ち支援事業(4週連続講座)(実施回数)	目標	4	4	4		回
				実績	4	4	4		
3	活動指標	あつまれキッズ(実施回数)	目標	39	40	33		回	
			実績	39	35	31			
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高津区は出生数や子育て世帯の転入が多い。子育て不安・孤立化を防ぎ、子育て当事者の子育て力の向上と、安心して子育てができる地域づくりのため、子育て当事者に向けた子育てに関する学習や当事者間や地域支援者との交流や、父親の育児参加の促進などが必要とされている。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 2年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		早い段階で子育て家庭の孤立化を防ぎ、友だちづくりや地域との交流を促進するため、0歳児対象のあつまれ！キッズを1か所より区内3か所で開催し、区内の幅広いエリアをカバーしていく。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子育て世帯の転入が多く、子育ての孤立化を防ぐために今後も継続していく必要がある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	事業の中で交流・学び・情報提供・相談対応を通し、子育て当事者と支援者・当事者間の相互の関係を活用した支援を実施することで、親としての成長も担え事業の成果は上がっている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	現在の事業執行体制が適当であると考えている。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
子育て中の親子の子育て不安や孤立化の軽減のため、当事者間・支援者と当事者の相互関係をいかした支援を実施し、早い時期から子育ての仲間作りができるよう講座を開催し、また父親の育児参加など当事者の「親としての成長」を目指す。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	10	子育てネットワーク推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課/保育所等・地域連携		岡部/石倉	64813/64852	

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育てネットワーク会議…子どもに関わる団体、関係機関等が集まり子ども・子育てに関する情報交換や課題の共有、協議等を行うと共に、部会を設置して、子育て情報ガイドの内容の検討、子育てグループ交流会や講演会の開催などを行う。 転入者子育て交流会…子育て世代の転入者に向けて、地域情報・子育て情報の提供と参加者同士が交流できる場を提供する。 子育てグループの活動を周知し、情報交換をする交流会を開催する。 子育てグループのニーズを把握するための見学会を実施する。 							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費			
		平成27年度	—						
地域の課題と現状		高津区は出生数、子育て世代の転入者が多い。知り合いのいない慣れない地域で孤立感、不安感を抱えた保護者に対し、地域や子育て関係施設と連携して支援を行い、子育てしやすいまちづくりを目指す必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	950	799	321	249	328	179		
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	950	799	321	250	328	179		

計画 (Plan)	
事業の目的	地域の関係機関や団体等が連携し、区内の子ども・子育て支援のネットワークの強化を図り、地域で支え合いながら子育てしやすいまちづくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育てネットワーク会議…年4回会議を開催するとともに、必要に応じて部会を開催し、講演会の検討等を行う。 転入者子育て交流会…地域の子育て情報の提供や参加者同士の交流の場の提供を年6回行う。 子育てグループの活動を周知し、情報交換をする交流会「きっとみつかると楽しい仲間」を年1回開催する。 子育てグループのニーズを把握するための見学会の開催を年3回以上実施する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4		<ol style="list-style-type: none"> 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った 					
取組内容の実績等		ネットワーク会議は、3回開催した(新型コロナウイルスの感染状況を考慮して1回中止)。また、部会(研修・企画部会、情報部会、子育てグループ支援部会それぞれ2回開催した。 転入者子育て交流会は、緊急事態宣言を受け春の会は中止とし、秋に感染予防対策を十分に講じたうえで規模を縮小し開催した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	子ども・子育てネットワーク会議の開催(開催回数)	目標	4	4	4		回
				実績	4	3	3		
	2	活動指標	転入者子育て交流会の開催(開催回数)	目標	6	6	6		回
				実績	6	6	3		
3	成果指標	子育て交流会「きっとみつかると楽しい仲間」の開催(参加者)	目標	100	100	100		人	
			実績	169	79	0			
4	活動指標	子育てグループ見学会の実施(実施回数)	目標	3	3	3		回	
			実績	11	7	0			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、子育て当事者の子育て不安や孤立化を防ぐため、地域の関係機関や団体等と連携し、地域交流の機会(場)の提供や子育てを支える地域づくり(ネットワーク)の強化を推進する必要がある。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(令和3年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		ネットワーク会議は、議題の必要性などを精査し、開催回数を削減する。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く子育て当事者の子育て不安や孤立化を防ぐため、地域の関係機関や支援団体等が連携し、子育てに優しい街づくりを実施する必要がある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区民、関係機関、団体等と子ども・子育て支援の課題について協議し、課題解決のため各事業を協働して実施した。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	地域の関係機関や支援団体等がそれぞれの強みを活かせるような更なる連携を模索する。転入者子育て交流会と子育て交流会の実施方法など効果的な方法を検討する必要がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 年間の出生数や子育て世代の転入が多い高津区において、子育て不安や孤立化を軽減し子育てしやすい街づくりを目指すことは必要であり、関係機関や支援団体等とのネットワークの強化が重要となっていくため、担い手の発掘や育成へも力を入れながら市民主体の活動へ支援していく必要がある。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	15	子育て情報発信事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課/保育所等・地域連携		岡部/根津	64813/64851	

事業の概要									
事業の概要		子育て中の区民のニーズに合った地域の子育て情報がさまざまな手段で得られるよう、子育てガイドブック「ホットこそだて・たかつ」やリーフレットを発行するとともに、ホームページやアプリなどを通じて情報の提供を行う。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費			
		平成27年度	—						
地域の課題と現状		高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。							
予算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,390	1,258	1,215	1,016	1,121	1,099		
財源 内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	1,390	1,258	1,215	1,016	1,121	1,099		

計画 (Plan)	
事業の目的	子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように適切な子育て情報の提供を行う。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 子育て情報ガイドブック「ホットこそだて・たかつ」の発行(7月に7,000部発行) 区内地域子育て支援センターリーフレットの発行 ホームページの作成・更新

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> 子育て情報ガイドブック「ホットこそだて・たかつ」の情報を更新し、7,000部発行。ホームページは随時更新。 区内地域子育て支援センターリーフレットを5,000部発行した。 							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	子育て情報ガイドブックの発行	目標	8,000	8,000	7,000		部
				実績	8,000	8,000	7,000		
	2	活動指標	区内地域子育て支援センターリーフレットの発行	目標	7,000	5,000	5,000		部
				実績	5,000	0	5,000		
	3	成果指標	ホットこそだてたかつホームページアクセス数	目標	8,000	8,000	8,000		件
実績				8,122	7,358	6,271			
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 2 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		在庫管理により、子育て情報ガイドブックの発行部数を見直した(8,000部→7,000部)	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	紙媒体やホームページ等さまざまな形で情報提供することが出来た。子育てアプリなど他の情報媒体もある中、ホームページのアクセス件数は減少しているが、引き続き広く情報発信・提供することが必要である。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	現在の事業執行体制が適当であると考えている。発行部数については毎年度精査する。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
	子育て中の区民のニーズに合った地域の子育て情報を、手段などを精査しながらガイドブックやホームページを通じて、より親子のニーズに合った情報を提供する。冊子の発行部数については必要な部数を精査する。ホームページについては、内容の更新を行う。	

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	20	高津区子ども・子育てフェスタ事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		岡部	64813	

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 親子で楽しめるイベントの開催 子育て中の保護者など参加者が交流を深めることのできる場の提供 子育て支援機関や団体、子育てグループ、地域子育て支援センター等の活動内容の情報提供 							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費			
		平成17年度	—						
地域の課題と現状		子育て中の保護者の不安や悩みが多様化しているが、孤独感を感じず、子育てを楽しめるよう地域全体で子育て支援を行っていく必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	414	338	488	383	454	299		
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	414	338	488	383	454	299		

計画 (Plan)	
事業の目的	子育て中の保護者や子育て支援に関心のある区民が、子どもと楽しく過ごしながら、子育てに関する情報を得る中で、子どもを育てる力の向上を図ると共に、子育て支援機関や団体及び関係行政機関が協働して実施することで、地域全体で子育てを支える意識の向上を図る。
今年度の事業の取組内容	11月14日に高津市民館で、第16回高津区子ども・子育てフェスタを開催する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		11月14日に高津区子ども・子育てフェスタを開催。乳幼児から中学生までの子どもとその保護者を対象に、子育てグループ、子育てを支援する団体・機関などが催し物や展示などを実施した。例年実施していたオープニングコンサートは、後日、動画配信を行った。来場者は450人(新型コロナウイルス感染防止のため定員を設定)、参加者に配布した各団体等の活動状況を掲載した冊子の参加は64団体。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	子ども・子育てフェスタ(来場者)		目標 1,600	1,600	1,600		人
				実績 2,100	1,800	450			
	2				目標				
					実績				
	3				目標				
				実績					
4				目標					
				実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高津区は出生数、子育て世代の転入などが多いため、地域で子育ての仲間作りが出来ず、育児不安を持つ区民がいることから、地域の子育ての仲間作りにつながる情報を提供し、子育ての不安を取り除く場を提供する必要がある。また、地域の子育て支援機関や団体などと協働することで、地域全体で子育てを支えている意識の向上を図ることも必要である。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直直) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子育てしやすい環境づくりに加え、子育て世代の孤立化、子どもの居場所づくりなど個別の課題にも対応が必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	乳幼児から中学生まで幅広い年齢の子どもが参加があり、父親の参加も多くみられた。フェスタの開催を通じて関係団体等との連携・ネットワーク強化が図られ、区民への情報提供に生かすことができた。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	予算だけでなく人工なども含めて費用対効果を分析し、適切な事業規模、実施方法を検討していく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
子ども・子育てフェスタは今年度で16回目を迎え、当区における子ども・子育てのイベントとして定着しており、子育ての不安をひとつでも取り除き、地域全体で子育てを支える意識の向上を図る場となっているため当面は継続していくが、その反面、前例踏襲になっていることもあり社会環境の変化なども考慮して見直し、改善を図っていく。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	40	こども未来事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			675000		地域みまもり支援センター保育所等・地域連携/地域ケア推進課			石倉/岡部	64852/64813

事業の概要									
事業の概要		高津区の地域特性を踏まえ、さまざまな地域資源を活用しながら、ものづくりや多様な人との交流の機会を設け、子どもたちの健全な成長を支援する。 木との触れ合いの機会の提供を通じ、感性豊かな心の発達を促すとともに、森林や環境問題への理解を育む。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費			
		平成28年度	—						
地域の課題と現状		少子化、共働き世帯の増加、コミュニティ意識の低下等により、地域で多様な人と関わる機会が減少している。またプラスチックや金属素材の製品が多くを占めるようになり、木に触れたり見たりする機会も減少している。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	451	240	359	245	336	214		
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	451	240	359	245	336	214		

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもたちが地域の中で、さまざまな体験や多様な人との交流をすることで、自身の将来や地域社会を理解し、つながりを考えるきっかけをつくり、多世代交流を推進する。 国産木や自然の素材に触れ、子どもの豊かな感性を育む。
今年度の事業の取組内容	・こども未来体験…高津ものまちづくり会と区内小学校との協働によりものづくり技術の体験等 ・多世代交流事業…多様な年齢、地域での交流を実施 ・木育推進事業…木製遊具を通じ、木材に親しむ機会を創出

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		多世代交流事業においては、高齢者との交流が主になるため、コロナ感染拡大防止の観点により、一部中止としたため目標数を下回った。各事業においては、新たな生活様式を取り入れるなどの工夫を行い全てを自粛とせず、人数制限や実施場所、実施内容等を見直しながらも事業を継続し、新たななかかわり方を見出す機会ともなった。／木育推進事業は、遊具等を共有できないために在宅子育て支援の一環として、木育遊具を貸出し家庭での体験に転化した。(55回実施)							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 成果指標	こども未来体験事業(参加者)			目標 130	60	60	60	人
					実績 135	76	91		
	2 活動指標	多世代交流事業(開催回数)			目標 14	13	13	6	回
					実績 16	12	6		
3 活動指標	木育推進事業(開催回数)			目標 4	4	3	50	回	
				実績 5	7	55			
4					目標				
					実績				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症の影響により、社会環境が大きく変化した。感染予防のため、市民があつまる事業は自粛や見直しを実施した。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直し履歴も記載できる場合は記載		木育推進事業については、単独事業として開催する方法だけでなく、今後は既存事業と統合し様々な機会を通じて木育を推進していく手法に転換していく。コロナ禍のため、木育推進事業を在宅子育て支援へと転化し、木育遊具の貸し出しを実施し在宅での木育遊具体験を推進した。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	少子化、共働き世帯の増加、コミュニティ意識の低下等により、地域で多様な人と関わる機会が減少しているため必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	成果指標等より感染症の予防を第一優先としたため	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	既存事業、関係施設の特性を生かしながら事業を推進していくことで、業務改善につながっている。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 多世代交流事業では、高齢者との交流を対面で行わない新たな取り組みへと転じるなど工夫し、地域での繋がりを継続していく。 木育推進事業においては、子育て家庭や子育てを支える地域の人材・団体対象に、実体験やエビデンスを伝え子育てに木(自然)を取り入れる良さを伝えていく。